

平成 31 年 1 月 8 日

### 3 学期始業式 式辞

みなさんあけましておめでとうございます。「短い冬休みでしたが有意義にすごせましたか。特にお正月はいかがでしたか」 日常の生活に「けじめ」をつけるということは人間の知恵です。お正月の意義は新年を迎えた機会に初心に戻り、その年の決意をたてたり、意欲を充実させるところにあります。みなさんも個々それぞれの思いで新たな年を迎えられたことと思います。みなさんにとって健康で充実した年となることを期待します。同時に人生を豊かに生き抜く心構え「挨拶・思いやり・様々な学び」加えて「正しく生きること」、を年のはじめに個々の思いや決意とともに、再確認しておいてください。

さて、本日は世界でも注目されている非認知能力について少し触れておきます。非認知能力とは、IQ などで測れない内面の力を言います。具体には、感情をコントロールする力・創造力・勇気・好奇心・冒険心・リーダーシップ・協働性・レジリエンス等です。これらはペーパーテストのように数値では認知できません。その中の、レジリエンスに着目したいと思います。

実は私、元日には「レジリエンス・レジリエンス」と思い地元の里海公園を走っていました。私はまだまだ若輩ですので、この力をもっと高めたいと思っています。また、みなさんにもぜひ身に付けてもらいたい力の一つです。どのような力かと言いますと。外圧を表面的に抵抗するのではなく、内なる力で跳ね返す力、逆境を糧にして飛躍のチャンスに変えていく力、【折れない心：釣竿のように】

総じて「しなやかな強さ」と解説しておきましょう。

レジリエンスを高めるために必要な要素は①退化せず進化を求めて学び、挑戦し自尊心を高めること。②周囲への思いやり（良好な人間関係の構築：感情をコントロールしコミュニケーションを深める。指導助言を素直に受け入れる）を大切にすることです。勿論これだけではありませんが、大切な要素の一部です。記憶にとどめておいてください。

それではみなさん、本年度、個々の決意、目標を達成するとともに、非認知能力の一つ「レジリエンス：しなやかな強さ」等高め、更なる飛躍の年となることを期待して式辞とします。